

地域とともに!
ハートフル!



潮来高校新聞



発行：潮来高校 教務部 [【http://www.itako-h.ibk.ed.jp/】](http://www.itako-h.ibk.ed.jp/)

県立校の一斉休校の影響

2021/8/27の茨城県知事記者会見で、県独自の非常事態宣言の9/12までの延長が発表されました。

- ①授業のリモート対応
- ②部活動の全面禁止
- ③学校行事の延期または中止

という3つの対応が示されました。就職指導や進学指導の大事な時期でもあるため、学校が個別に対応することは可能だそうです。県内大会においては、主要主催団体に延期または中止をお願いしているようで、今後新人戦などの大会にも影響が出てくるかも知れません。今回は非常事態宣言延長による休校措置に関わる本校の取り組みについて紹介していきます。

Google Classroom

Google社の教育プログラムであるGoogle for EducationのClassroom機能を利用して、先生方が新しい取り組みを始めています。Google Classroomでは、保護者への連絡から生徒同士の交流が可能。生徒はツール上で課題を提出したり、課題へのコメント、共有情報の閲覧などが可能です。

教員側は課題の作成や採点をClassroom内で行うことができます。学校行事予定を入力したカレンダーなど、生徒に必要な情報を共有することも可能です。これまで紙中心だったやり取りのほとんどを手軽に効率よく進めることができます。

オンラインSHRの試み

9月3日(金)1年A組でGoogle Meetの機能を利用して、本校初のリモートによるSHRが実施されました。開始予定の9時は少々過ぎましたが、無事全員が参加することができました。

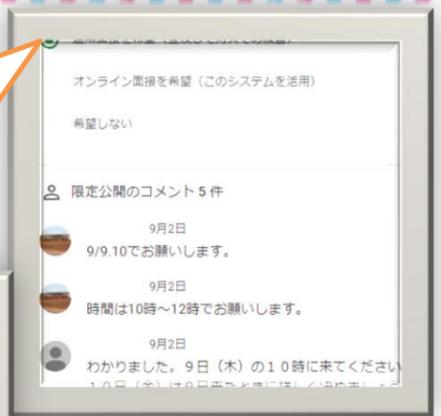
4月の入学以来、ずっとマスクを着用した学校生活のため、マスク不要のオンライン会議はお互いに新鮮だった様子。まずは背景の変更方法やマイクのオン/オフを覚え、全員の健康チェックや学習計画などを確認しました。



SHR終了後のインタビューで、野田剛琉さん(平井中出身)は「久しぶりに友達に会えて楽しかった。(Google Meetの)設定は問題なく出来たが他の人は大変そうだった。」と答えていました。クラス担任の小島先生は、Googleスライドを利用したリモート授業の準備を進めており、今後実践する予定です。

Classroom ~本校活用例~

-3学年 邊田先生の場合-
面接練習の希望有無を、質問機能で集約し個別にスケジュールを打ち合わせしています。



部活動グループを作成し、月間練習予定や大会で撮影した写真をアップ。本人や保護者がダウンロードして記念に残すこともできます。



-1学年 小島先生の場合-
小テストをGoogleフォームで作成。クラス全体の回答状況がグラフ形式で自動表示され、設問に対する間違いの傾向を容易に把握できます。



生徒個人の回答も自動採点され、理解が不十分な分野の洗い出しが可能。個別の助言や授業の進め方の参考にできます。

3学年は就職試験を目前に控えたこのタイミングでの休校措置に、面接指導の時間確保に苦慮しています。



このため各HR担任はクラス生徒から

- ①リモートでの面接指導
- ②接触を避けるため時間をずらし登校して面接指導

のいずれかの希望を取り、スケジュールを組んだ上で面接指導にあたっています。生徒によって使用端末の設定が異なるため、リモートでの面接指導では事前の準備に大きく時間が割られました。

リモートによる
面接指導



本校の推奨端末Chromebookは起動が10秒ほどと速く、データは主に「Googleドライブ」というクラウドで管理するため破損・紛失を防ぐことができます。文書作成・表計算のためのアプリケーションも完備。タッチスクリーン対応機種ならタブレット端末のような操作も可能。

100円ショップや家電量販店などで購入できる「静電式」のタッチペンがあれば文字を書く・絵を描くなどの細かい作業も容易になります。 ※ NINTENDO3DSのタッチペンなどは「感圧式」ですので代用できません。

